

急 告

全ての獣医師そして関係者の皆様へ

－東北関東大震災被災からの復興を期して－

1 このたびの地震・津波により被災された方々には心からお見舞いを申し上げますとともに、現在、被災地でご自身及びご家族の命と生活を必死に守ろうとしておられる方々、被災者のライフラインの確保に不眠不休で尽力しておられる方々、そしてこの大災害に懸命に立ち向かっておられる全ての方々に、全国の獣医師を代表し、力の限りの声援を送らせていただきます。

2 我々獣医師は、これまで、地震・噴火等の大災害における動物の救護、口蹄疫等の悪性伝染病の防疫等の広域的災害の発生に際し、獣医療提供活動を通じ団結して力を発揮してきました。

当時未曾有の大災害と言われた阪神淡路大震災においては、国民が被災地の惨状にあ然としている中で、獣医師と獣医師会が被災動物の救護に乗り出し、全国の賛同者の支援を受けて、後に災害時の動物救護のモデルケースとされる活動を展開しました。その後、有珠山、三宅島の噴火災害や新潟中越大震災等においても、獣医師は、その力強さを発揮し続けました。

昨年宮崎県の口蹄疫の防疫活動において、産業動物診療獣医師のみでなく、小動物診療獣医師、公務員獣医師等幅広い職域の獣医師が力を結集し、防あつを成功させたことは、皆様方の記憶にも新しいことと思います。

- 3 さらに正念場は続きます。全国の獣医師が支援の輪を広げなければなりません。この苦難を乗り切るためには、被災地の方々に、全国 3 万 5 千人の獣医師の惜しまぬ支援を実感していただくことこそが重要なのです。

今回の災害の発生直後、国内の獣医師、動物飼育者の方にとどまらず、世界各国の獣医師、獣医師会関係者の方々から、日本獣医師会に、また、日本獣医師会会長である私に、多数のお見舞い、応援のメールが送られてきました。海外からは、義援金の寄付等の支援を申し出る方も多く、現地の獣医師の方々には、国内の仲間たちに加えて、全世界の獣医師が被災者を心から案じていることもあわせてお知らせしたいと思います。

- 4 被災地では、すでに一部の獣医師、獣医師会が被災動物の救護を開始したとの情報を得ています。今後、人命の救助やライフラインの確保が進むとともに、動物救護活動が社会的にも注目されてきます。被災地の獣医師会におかれては、大変なご苦勞をされていることとは思いますが、縣市等の自治体当局とも十分な連携を確保され、各般の動物救護活動にご尽力いただきますようお願いいたします。

- 5 被災地における動物救護活動に対する日本獣医師会、そして全国都道府県政令都市獣医師会の支援については、日本獣医師会が構成メンバーとなっている緊急災害時動物救援本部に一元化し、被災地での動物救護に係わる資金・資材の供与等の活動を展開することとしております。

このたびの諸活動に係る資金については、日本獣医師会におきましても、改めて募金の活動を行うこととし、全国の地方獣医師会をはじめ関係諸団体・企業等の会員、その他関係者の皆様に協力をお願いすることとしておりますので、何卒よろしく申し上げます。

6 このような危機の中で力を示すことが、我々獣医師の責務でもあり、社会的使命の一層の向上につながるものです。

我が国の獣医師、獣医師会に潜在する力に期待するとともに、全ての獣医師が被災対策と被災地の復興に向け、奮励努力されますことを祈念します。

平成23年3月

社団法人 日本獣医師会
会長 山根 義久